



南あわじ市

議会だより

第85号

令和7年4月30日発行



淡路ファームパーク イングランドの丘で
ピーターラビット™ フラワーガーデンが
令和7年9月19日まで開催中！

主な内容

- 第130回定例会の結果 P 2～7
- 一般質問 P 8～16
- 第129回臨時会の結果 P 17
- 一部事務組合議会報告など P 18～19
- イングランドの丘でインタビュー P 20

PETER RABBIT™
Beatrix Potter™

BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2025.
Frederick Warne & Co. is the owner of all rights, copyrights and
trademarks in the Beatrix Potter character names and illustrations.
Licensed by Frederick Warne & Co. Ltd. All Rights Reserved.

南あわじ市議会
ホームページ



マチイロ



南あわじ市議会
YouTube



予算審査

・委員長 阿部 守
・副委員長 長船 吉博
・委 員 議長を除く全議員
・開催期間 3月11~13日、17日

令和7年度の予算の総額は、歳入歳出それぞれ329億7,000万円となっています。
議論の中から、議会が市長部局へ伝えた主な意見をピックアップしてお知らせします。

一般会計

子ども食堂事業補助金 30万円

補助対象を3団体と見込んでいることだが、少なく感じる。

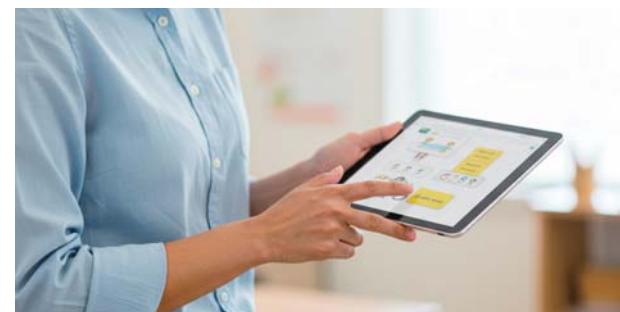
夏休みに、学習支援や世代間交流と併せて子ども食堂を実施している団体もあるが、補助要件の年間6回以上実施に該当しないため、補助対象にはなっていない。

子どもの居場所づくりに貢献している団体が補助を受けられるようにすることで、子ども食堂が広がっていくと考えられるため、食事の提供以外の活動も柔軟に認めるなど、補助要件を再度検討していただきたい。

保育業務支援システム導入業務委託料 250万円

登園管理や保護者へのお便りなど、保育士の事務的な業務の負担を減らし、保育に係る時間を増やしていくことだが、システム導入と併せて事務の省力化についてもしっかり取り組み、保育士が子どもと向き合う時間を増やしていただきたい。

また、個人情報の漏洩がないようインターネット環境についてはセキュリティを強化していただきたい。



相談支援・地域づくり事業 1億830万円

経験豊富な保健師と社会福祉士を新たに相談支援包括化推進員として配置し、多機関の職員それぞれが包括的な視点を持ち連携することで、市民や家族の抱える複合課題に対し支援を行うとのことである。

様々な困難や多様な生きづらさを抱える市民が安心して相談できる体制を整えていただきたい。



▲地域づくりイベント（多世代による芋ほり）

合併処理浄化槽設置整備事業補助金 2,130万円

下水道事業の計画区域以外で合併処理浄化槽を設置する際に補助金を交付していることだが、計画区域外の土地であっても、敷地に接する道路に下水管が整備されている場合は、下水道への接続を認めている場合があることである。

下水道処理施設の稼働率を上げるために、計画区域外の土地で下水道の接続が可能な場合は、接続する方向で推進していただきたい。



鳥獣被害防止総合対策補助金(整備) 2,450万円

集落による計画的な取組が重要とのことで、集落で行う防護柵整備などに対し補助金を交付しているとのことだが、休耕田や耕作放棄地の増加により耕作地が点在している。そのため、集落で話し合いを持つことが難しく、防護柵などの経費を個人でまかなっている場合があると聞く。

こういった状況が続くと、離農につながることも考えられるため、補助を受けることができるよう、柔軟に対応していただきたい。



産業活力アップ起業支援事業補助金 6,000万円

需要が高く、令和6年度は年度途中で予算額が上限に達したため、申請を締め切ったとのことだが、市内で起業してもらうことは、人口増につながり、少子化の歯止めにもなるので、令和7年度に予算が上限に達した場合は、補正するなどの対応を考えていただきたい。



図書館空調設備更新工事費 2,300万円

市立図書館の2階AVホールの空調設備更新工事を行うことであるが、当該AVホールには高価なAV機器等の設備があるにもかかわらず、市民の利用頻度は低調である。費用対効果を意識して、市民の利用頻度が高くなるよう、計画を立て、取り組んでいただきたい。

地域づくり事業交付金 1,621万円

物価高騰等により、地域行事の財源確保に苦慮している地域が増えているため、交付金額の見直しを検討していただきたい。



■討論

反対 吉田 良子 議員

討論要旨

「子育ての喜びがみえるまち」の市として全国で広がっている学校給食の無償化、子ども医療費の所得制限の撤廃に背を向けている。高齢者支援、若者支援、保育士等職員体制の拡充、水仙郷の経営改善などが不十分である。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

特別会計

介護保険特別会計予算

65歳以上の市民を対象とする電動アシスト自転車の普及を図るeチャリプロジェクト

334万円

令和7年度はモニターを募集し、走行距離やアンケートなどのデータを収集・分析し、令和8年度以降の事業展開に活かすことだが、高齢者の健康維持や移動手段の確保などに役立つ事業にしていただきたい。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



議案の審査で こんな議論をしました（会期：2月21日～3月25日）

令和6年度一般会計補正予算（第9号）

■議案内容 岁入歳出予算の総額からそれぞれ8億6,409万4,000円を減額。

▶デジタル田園都市国家構想交付金 1億8,750万円の減額

■主な質疑

問 減額の理由は。

答 この交付金は道の駅うずしおリニューアル工事の財源となっており、工事の完成が令和7年度に延伸した事による減額である。

▶高潮対策関連工事費8,500万円の減額

■主な質疑

問 減額の理由は。

答 高潮対策として福良浜町のポンプ施設の工事を予定していたが、海岸保全区域の管理者である兵庫県との協議が長引き、工事が令和7年度に延伸したことによるものである。

▶さんゆ～館施設指定管理料

848万3,000円の増額

■主な質疑

問 増額の理由は。

答 令和5年3月から12月にかけて発生した漏水による水道使用料及び燃料費増加分等を今回の指定管理料に上乗せするものである。

■議決結果 賛成多数で原案可決。

議会YouTubeチャンネルでライブ配信したもの「過去のライブ配信」として公開しています。

（第130回定例会から）

●右のQRコードをスマートフォンやタブレット等で読み取ると視聴できます。



●「市ホームページ」からの閲覧方法

「南あわじ市議会」→「録画放送」

→「YouTubeで「過去のライブ配信」が視聴できます」

※注意事項

配信されている映像・音声は、

南あわじ市議会の公式記録ではありません。

動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。

南あわじ市副市長定数条例の一部を改正する条例制定

■議案内容 副市長の定数を1人から2人に変更するもの。

■主な質疑

問 副市長を二人体制にする理由は。

答 組織横断的な業務が増えており、スムーズに対応するため、副市長を二人体制にするもの。

基本的に総務文教部門と産業厚生部門とで業務分担し、関係部署と連携をとりながら諸課題にスピード感を持って対応できるようにしていく。

■討論

反対 吉田 良子 議員

討論要旨

行政が対応する課題が複雑化、多様化し量的にも増大しているのであれば、職員がそれらに対応するため、また市民要望の課題解決に取り組むためには職員の増員、体制の強化が先ではないかと考える。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

淡路人形浄瑠璃館条例の一部を改正する条例制定

■議案内容 さらなる集客を図るため休館日やその他所要の改正を行うもの。

■主な質疑

問 休館日を変更するに至った理由は。

答 淡路人形浄瑠璃の力強い太夫の語り、腹の底に響く三味線の音色、豪快さの中に纖細さが光る人形の動きを多くの人に体験してもらいたいという淡路人形座の強い要望があつたため。

また、淡路人形座は観光施設であり、冬休み期間に地元の方や学生、観光客に観劇してもらい収益の増加を図るために、12月26日から同月31日までの休館日を12月31日及び翌年1月1日に変更するものである。

普段は学校があり来ることのできない児童や学生が淡路人形浄瑠璃に触れられる機会を作り、市が誇る伝統芸能の普及啓発につながると考えている。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の策定（伊昆辺地）

■議案内容 辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別設置等に関する法律により、議会に議決を求める。

■主な質疑

問 この計画は、大鳴門橋周辺地域・道の駅うずしおなどの整備に関連するものであるのか。

答 道の駅うずしおの改修、大鳴門橋自転車道の建設によるオーバーツーリズム対策を行うために計画を策定し、観光客のスムーズな交通を確保するものである。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



人事案件【敬称略】

■副市長の選任

同意 木田 博仁

任期 令和7年4月1日～令和11年3月31日

■監査委員に選任

同意 藤井 貴之

任期 令和7年3月23日～令和11年3月22日

■教育委員会委員の任命

同意 近藤 宰常

任期 令和7年3月31日～令和11年3月30日

■人権擁護委員候補者の推薦

適任 清川 礼子

適任 安田 敬子

任期 令和7年7月1日～令和10年6月30日

■南あわじ市選挙管理委員

委員当選 よこ 横酒井 ひろみ（倭文）

よし お義夫（西淡志知）

よし お繁秋（三原志知）

しげあき 佐渡 達史（阿万）

きだ 喜田 利明（八木）

おせ 大瀬 久（広田）

にしなか 西中 あきひろ 章博（松帆）

ひろせ 廣瀬 ちさ（福良）

任期 令和7年3月30日～令和11年3月29日

南あわじ市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

■議案内容 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、児童福祉法に乳児等通園支援事業の規定が追加され、当該事業に係る設備及び運営の基準について定めるもの。

■主な質疑

問 この条例の具体的な内容は。

答 急速な少子化・人口減少に歯止めをかける目的で、国で新たに創設された「こども誰でも通園制度」が市町村の認可事業として位置づけられたことに伴い、その運営基準を定めたものである。

本市では、「平日一時預かりサービス事業」として、令和6年度より、すでにゆめるんセンターで実施している。令和7年度も継続して実施する。

民間の事業展開についても、利用状況や保護者のニーズ、さらには保育所の空き教室や保育士の確保といった要素を踏まながら、より良い在り方を検討していくたい。

問 「平日一時預かりサービス事業」と「一時保育サービス事業」の違いは。

答 「平日一時預かりサービス事業」は、時間単位で就労などの要件を問わずに利用できる。

「一時保育サービス事業」は、保護者の労働・就労などで保育が断続的に困難となる場合や疾病、事故、出産、看護、冠婚葬祭などで、一時的に保育が必要な場合に1日単位で利用できるサービスである。

■議決結果 賛成多数で原案可決。



令和6年度南あわじ市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

■議案内容 市の直営診療所の歳入歳出予算の総額からそれぞれ40万円を減額など。

■主な質疑

問 今回の減額補正是、沼島診療所、阿那賀診療所、灘診療所の利用者減少によるものか。

答 利用者の減少というのも考えられるが、主な要因は、診療報酬の改定により高血圧、糖尿病、脂質異常などの診療に対する点数加算がなくなったことによるものである。



■議決結果

賛成多数で原案可決。

令和6年度南あわじ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

■議案内容 歳入歳出予算の総額からそれぞれ340万円を追加。

■主な質疑

問 後期高齢者医療保険料が増額となった理由は。

答 死亡や転出などにより資格を喪失した人数が当初の想定より少なかったことが大きな要因である。また、被保険者の令和5年の農業所得などが令和4年よりも高かったことも要因の一つとして考えられる。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



議決結果一覧

■全議員賛成の議案

提出者	議案名	議決結果
市長	一般会計補正予算(第9号)	原案可決
市長	一般会計補正予算(第10号)	原案可決
市長	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
市長	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
市長	介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
市長	産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
市長	国民宿舎事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
市長	土地開発事業特別会計予算	原案可決
市長	産業廃棄物最終処分事業特別会計予算	原案可決
市長	国民宿舎事業特別会計予算	原案可決
市長	下水道事業会計予算	原案可決
市長	広田財産区特別会計予算	原案可決
市長	福良財産区特別会計予算	原案可決
市長	北阿万財産区特別会計予算	原案可決
市長	沼島財産区特別会計予算	原案可決
市長	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	刑法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定	原案可決

提出者	議案名	議決結果
市長	情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	淡路人形浄瑠璃館条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定	原案可決
市長	手数料条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	市営住宅条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	字の区域の変更(内原地区)	原案可決
市長	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の策定(伊毘辺地)	原案可決
市長	辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の変更(安住寺辺地)	原案可決
市長	権利の放棄	原案可決
市長	監査委員の選任	同意
市長	教育委員会委員の任命	同意
市長	人権擁護委員候補者の推薦	適任
市長	人権擁護委員候補者の推薦	適任
議会運営委員会	南あわじ市議会委員会条例の一部を改正する条例制定	原案可決

■賛否の分かれた議案

議長(久米啓右)は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対)

提出者	議案名	議決結果	印部	土井	阿部	谷口	中村三千雄	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北吉良子	吉田津子	熊田司	木場徹	長江順子	
市長	一般会計予算	原案可決	印部	久信	巧	守	博文	三千雄	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北吉良子	吉田津子	熊田司	木場徹	長江順子
市長	国民健康保険特別会計予算	原案可決	土井	久信	巧	守	博文	三千雄	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北吉良子	吉田津子	熊田司	木場徹	長江順子
市長	後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	阿部	久信	巧	守	博文	三千雄	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北吉良子	吉田津子	熊田司	木場徹	長江順子
市長	介護保険特別会計予算	原案可決	谷口	久信	巧	守	博文	三千雄	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北吉良子	吉田津子	熊田司	木場徹	長江順子
市長	副市長定数条例の一部を改正する条例制定	原案可決	中村三千雄	久信	巧	守	博文	三千雄	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北吉良子	吉田津子	熊田司	木場徹	長江順子
市長	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決	印部	久信	巧	守	博文	三千雄	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北吉良子	吉田津子	熊田司	木場徹	長江順子
市長	税条例の一部を改正する条例制定	原案可決	土井	久信	巧	守	博文	三千雄	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北吉良子	吉田津子	熊田司	木場徹	長江順子
市長	副市長の選任	同意	阿部	久信	巧	守	博文	三千雄	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北吉良子	吉田津子	熊田司	木場徹	長江順子
議会運営委員会	市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決	谷口	久信	巧	守	博文	三千雄	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北吉良子	吉田津子	熊田司	木場徹	長江順子

市政を問う

～より良い南あわじ市へ～

3月4日、5日、7日、10日の4日間にわたって、議員16人が一般質問を行いました。

「市ホームページ」からの閲覧方法
「南あわじ市議会」→「録画放送」→「一般質問の録画配信」

議員名	質問内容	ページ
蛭子 智彦 (代表質問)	●施政方針 ●インフラ対策 (●一次産業の振興) ●観光振興 (●教育課題)	9
長江 和代 (代表質問)	●超高齢社会克服 ●公共交通 (●学校教育の充実と高度化) ●子育て支援 (●道路・河川の環境改善と通学路の安全対策)	9
阿部 守 (代表質問)	●施政方針	10
北条志津子 (代表質問)	●施政方針	10
原口 育大 (代表質問)	●施政方針	11
印部 久信 (代表質問)	●施政方針	11

市長が、令和7年度の施政方針で【五つの行動】を掲げました。

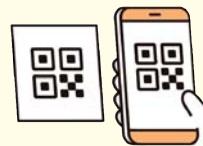


- (1) 超高齢社会克服のモデルとなるまちに
- (2) 子育て環境の向上と教育の充実
- (3) 地域の資源を活かした地元産業の活性化
- (4) 安全・安心のまちづくり
- (5) 「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり

QRコードからアクセス！

スマートフォンやタブレット等で質問議員のQRコードを読み取ると、さんさんネットで放送した「一般質問」の録画映像をご覧いただけます。

※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



()書きの質問については、掲載しておりませんが、録画映像をご覧いただけます。



人口増への積極的な取り組みを
大志と市民の会 蛭子 智彦 議員



問 施政方針で「努力しても人口は増えないと、こういう前提で物事を進めていく」と述べているが、真意は？

答 人口減少を正面から受け止め、一極集中の見直しを国に求め、地域にある経済や人材の力を引き出し、若者女性に喜ばれ、都会からの人往来を円滑にする政策をさらに強化する。

問 人口の増加にも積極的に取り組むべき。

答 出生を増やすのは難しいが様々な施策を打っている。

農免道路の白線

問 松帆の農免道路の白線がほぼ消えかかっている。対策は。

答 検討しながら進める。

市営住宅の解体費が高すぎる

問 市民から投書で解体費が高すぎると指摘があった。民間の3倍ぐらいになっている。

答 公定単価で施工している。

問 それにも高すぎる。今後、更に質問する。

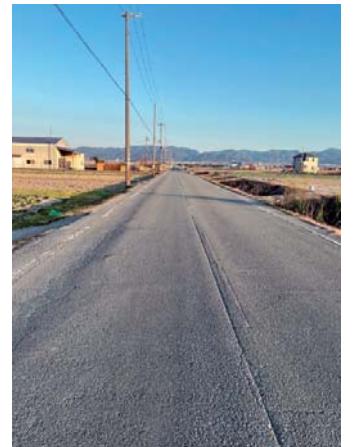
問 水仙郷ではサイクリストのニーズをつかみ、おもてなしを

問 サイクリストへのアンケートを行った。また淡路に来た

いという人ばかり。もっとおもてなしをするべき。

答 今後、水の補給のできるところ、休めるところなども検討したい。

問 アシストサイクルの利用者もいるので、充電設備も検討を。



▲松帆の農免道路



施政を問う

創世クラブ 長江 和代 議員



問 超短時間雇用創出プロジェクトとは？

答 よりシンプルな業務を切り出し、障がい者など一定時間の勤務が難しい方に1日1時間、週1日からでも働ける雇用機会を提供する取り組み。週20時間未満の雇用形態で最低賃金以上の就労。シニアや障がい者が柔軟に働く南あわじ市独自の仕組みづくりを目指す。

公共交通機関について

問 らん・らんバスの運賃収入と赤字は各約1,000万円。市民

を無料にできないか？

高齢者の免許証返納者の利便性向上、これから始まる部活動の地域移行に伴う生徒たちの移動手段などに利用し、保護者の送迎の負担を少しでも軽減できる。空港バスの市の負担は3,472万円である。

答 市民無料化であるが淡路3市で淡路島地域公共交通計画があり、将来的には島内の路線バス、コミュニティバスの運賃の統一化を目指している。

病児保育について

問 病後児保育室があるが、

突然の発熱などの病気のときに預ける病児保育をぜひ始めほしい。

答 必要性は認識しているが現状での実施は難しい。

他に、学び楽しさ支援センター、学校給食地場産業食材利用拡大事業、道路整備などについて質問した。



▲市道松帆124号線



令和7年度施政方針について問う

誠道クラブ 阿部 守 議員



沼島の海上輸送手段維持確保は喫緊の課題！

問 海上輸送手段維持確保の今後の予定は。

答 重要な課題と認識している。本年度に調査業務を行い、事業者や地域の意向も踏まえ、海上輸送に必要な船は市で調達することで検討している。

問 船の規模は。

答 現在、どれ位のスペックの船舶が必要か検討できていない。今後、地域とも検討し協議する。

問 大事なのは今の生活に支

障が出ないこと。

答 その通り、最も重要なのは沼島地区での生活が滞りなく行えることである。

小中学校の体育館にスポットクーラー設置！

問 大きさや数は。

答 8畳程度用エアコン程の出力能力。小学校に各1台、中学校には部活動もあるので2台程度配置予定。

問 体育館にエアコン設置する考えは。

答 調査しながら何とか手法を検討する。

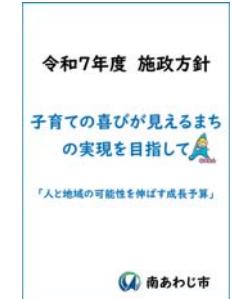
市が部活動の地域移行の先導役となる！

問 地域移行を今後どのように進めるのか。

答 南あわじ市の地域クラブの推進計画を策定、市が目指す姿を明らかにし具体的な方針を取りまとめていく。

問 市がしっかりと先導役となつて調整していただきたい。

答 話し合いの場を設定するなど先導してやっていく。



施政方針について

ゆづるはクラブ 原口 育大 議員



問 市長が目指す子育ての喜びが見えるまちの実現とは。

答 全ての住民が、地域の宝である子どもたちや子育て世代を応援し、成長を喜びをもつて見つめるような雰囲気と実態をつくる。そのためには、住民一人一人が健康で充実した生活を営み、周囲の幸せを喜ぶことができる余裕を持たなければならない。産業振興や福祉・安全なまちづくりといった政策は、そういう前提をつくっていく上で非常に重要である。

問 行者ヶ嶽砲台や鳥取海岸繫船場などへの散策道を整備する考えはないか。

答 大鳴門橋自転車道の供用開始の際には再整備も検討したい。

問 国道28号線中山峠の約200メートルの区間では、歩道が途切れており、自転車通行には大変危険だ。

答 自転車通行への注意喚起看板等、安全対策を兵庫国道事務所に要望したい。

問 改正戸籍法では何がどう変わるのか。

答 戸籍に氏名の振り仮名が付される。具体的には、本籍人に対して戸籍に記載される予定の振り仮名を通知し確認してもらい、認識されている振り仮名と違う場合には、届け出をしてもらうように案内する。



▲鳴門海峡・うずしおのみち



施政方針について

糸 北条志津子 議員



問 おもいやりポイント制度の現状は。

答 65施設登録。ボランティア登録者数は323名。令和5年度のアンケートでは認知度は半数程度で周知もしていきたい。

問 雇用創出プロジェクトの内容と現状は。

答 シニア雇用のノウハウを活用し、切り出した仕事をシンプルに障がい者など一定時間の勤務が難しい方に1日1時間、週1日からでも働ける雇用機会を提供する独自の仕組みづくりを目指す。

問 らん・らんバスの新設要望の検討は。

答 毎年度、ルート変更の機会で地域、利用者の声を反映させていく。

問 免許証を返納した高齢者が利用できる運転経歴証明書の特典は。

答 県内の例として路線バスの運賃半額、タクシーの料金1割引きなどがある。

問 牛乳出荷量1%に対し2円の補助をしているが補助金額の増額は。

答 国や県の動向を踏まえて

検討をした結果、前回と同様とした。

問 農業支援で農機具修繕費補助はできないか。

答 無理かなと考える。

問 食の街区づくりの構想計画は。

答 食のレベルアップと観光振興。

問 道路、河川の環境改善は。

答 広田地区の緑線の区画線設置、養宜川の浚渫は令和6年度に実施。



施政方針について

市民連合クラブ 印部 久信 議員



問 一般会計329億7,000万円、特別会計123億5,594万円、企業会計63億1,508万円、トータル516億4,102万円。20の新規事業について市長の見解は。

答 既存施策を実施している中で改善補充を実施している。例えば、民間賃貸住宅建設等促進事業、総合的福祉プロジェクトの中で必要なため、多機関協働事業、相談支援・地域づくり事業、生活困窮者エアコン購入費等助成金、訪問介護人材確保事業のヘルパーの初任者研修受講費用支援、高

齢者等元気活躍推進事業で障がい者雇用促進、シニア世代の健康維持、移動手段の確保などのために電動アシスト自転車の実証事業、給食費負担軽減事業、地場産食材を活用した食育事業を定常化、看護専門学校入学奨励金、小中学校スポーツクーラー整備事業、「世界一の食の島」推進事業、道路河川のメンテナンスを地域と行政が役割分担している。

他、経常収支比率、基金、人手不足、職員の10月採用、民間賃貸住宅建設等促進事業、

道路下水道インフラ、県道鳴門観潮線、地域協働メンテナンス事業（いなりこを含む）等を質問した。





世界一、食の街区構想

大志と市民の会 長船 吉博 議員



防災について

問 能登半島地域では医療過疎が悪化し、医療体制が深刻で、南海トラフ巨大地震発生後の医療体制は。

答 DMA T（災害派遣医療チーム）やJ M A T（日本医師会の災害医療チーム）などに来てもらう。

問 災害関連死は人災ではないのか！無くすための対策は。

答 予防対策が重要で順次進めしていく。

問 防災訓練、啓蒙活動が不可欠である。危機管理課は、

今後何を重点に対策するのか。

答 市民の災害への備え、意識向上などのソフト面を重点に取り組む。

問 先般、福良地区で空き家を活用したイベント・うずロックを開催して、何か得るものがあったのか。

答 サンセバスチャン世界一の美食の街に続き、世界一の食の島構想を福良の空き家を活用し、食の街区を作っていく。

問 空き家を長年貸してもらえるかどうか非常に困難だと

思うが。

答 売り手・買い手とも無理を言いやすくなるために行政が、事業者としてどのようにするかを有識者に聞いている。民間が主体となり、まちづくり会社を設定していく。

問 事業はテンポよくやっていかなければならない。



▲うずロックで空き家活用

美菜恋来屋のフードコート
空きスペースに遊具の設置を！

つなぐ 薩山 順子 議員



問 現在のテナントの状況は。

答 5区画のうち2区画だけが入っている。

問 小さい子どもたちが遊べるような遊具の設置、キッズスペース、雨の日でも遊んで買い物をして帰れるという提案をしたが、その後どうなっているか。

答 キッズスペースとして整備することが取締役会で正式に決定した。

イングランドの丘整備計画について

問 暑さ対策として、日陰や

休憩所の整備の進捗は。

答 施設の随所でミストを出している。暑さと雨対策についても様々なところで考えている。

問 3月20日開催の花みどりフェアにピーターラビットは間に合うのか。

※3月7日時点での質問

答 開園までには間に合うようする。

超高齢化社会克服のモデルとなるまちづくりについて

問 地域のコミュニティが希薄になっている昨今、少人数

で集える場所が必要でないか、市の考えは。

答 集いの場には、体操、趣味活動、茶話会など地域の実情も高齢者のニーズも様々であることから、住民自身が望むものを形にして支援する視点が重要と考えている。

他に、灘黒岩水仙郷、海釣り公園（メガフロート）について質問しました。



▲ピーターラビット(美菜恋来屋敷地内)



消防団員2,190名の条例定数の見直しは

市民連合クラブ 土井 巧 議員



答 合併時から一度だけ改正しているが、それ以降減らしていない。

問 人口減少の中で自治会、分団で本当に必要な人数に変更していくっては。

答 人口減少や高齢化等により団員定数を維持することが困難な地域があることは認識している。南海トラフ地震、台風災害に備え定数は維持したい。活動の実態把握については進めていきたい。

問 神代地区で調整して定数を考えてもらう。

高額療養費制度について

答 医療費の家計負担が重くならないようにする制度。自己負担の上限を超えた額を払い戻す。

国の動きは。

答 今年8月から3年間で自己負担額を引き上げる計画である。今年8月に引き上げを実施、来年以降については今年秋までに決定する。

※一般質問後に8月の引上げ見送ることに変更された。

問 がん治療や長期医療の必要な患者にとっては命に係わ

ることである。

ビジネスケアラーについて

答 家族の介護のため、心身の健康問題が周囲の理解や協力が得られない理由で、仕方なく退職される人もいる。縮小に向かう労働人口の維持確保の観点から行政や企業が一体となり支援を行う必要がある。

その他、部活動の地域移行、学校施設の再編について質問した。



▲消防団初出式



飼い主のいない猫の去勢不妊手術費用の助成を使いやすい制度に

南あわじ市公明党 熊田 司 議員



問 市内の獣医師による手術を助成の対象にしているが、市外の手術でも助成できないか。

答 南あわじ市獣医師会の協力で受け入れ体制を整えていることもあり、市外手術を対象とすることは考えていない。ただ、令和6年度スタートしたばかりなので、今後様々な意見を伺いながら、よりよい制度にしたい。

「超短時間雇用創出プロジェクト」の推進を

問 事業内容は。

答 切り出した業務をよりシンプルにして障がい者などが1日1時間、週1日からでも働く雇用機会を提供する取組である。

問 参加してくれる企業はあるか。

答 シニア雇用に取り組んでいる44事業所から声かけを始めたい。その上で、商工会やハローワークなどの関係機関を通じて新たな事業所を開拓していく。

問 職場内における障がい者に対する偏見をなくす研修が

必要ではないか。

答 市役所内の労働担当部局や商工会等と連携をしながら、企業向けの研修機会を設けるとともに、コーディネーターが企業側及び当事者のフォローアップをしっかりと担える体制を構築していく。



▲超短時間雇用創出プロジェクト



安心して住み続けられるために

日本共産党 吉田 良子 議員



問 新年度、学校給食費の無償化が全国で広がっている。物価高騰の対策として市として取り組むべきではないか。

答 国の交付金を活用し据え置く。国・県の動向を見ていいく。

問 授業でのドリル、問題集、テスト等の教材費は保護者負担ではなく公費で負担すべきではないか。

答 できるだけ負担のないように仕分けしている。

問 中学校入学時、制服等の負担が重い。入学祝金の復活

を求める声があり再開はどうか。

答 今は考えていない。

町ぐるみ健診での聴覚検査の実施は

答 先行の自治体の状況を参考に研究したい。

体育館にエアコン設置を

問 国の補助金も拡充している。体育館は避難所の役割、さらに教育環境の整備のために進めていくべきではないか。

答 研究しながら考慮したい。

関空・神戸空港飛行ルート変更は

問 淡路島上空が2ルートからルートに増え、高度が引き下げられ低空になる。騒音の影響が心配される、市の対応は。

答 課題が発生した場合、3市でしっかりと対応に当たる。

女性活躍推進事業の取組の充実を

答 女性の感覚を逃がさないようしていく。



▲南あわじ市学校給食センター



農地中間管理事業について

大志と市民の会 大江 幸司 議員



問 この事業について説明を。

答 農地の賃貸借や使用権の設定を行うための制度である。農地の所有者いわゆる出し手と農地を借受けする方、受け手の二者で成立する契約ではなく、出し手と受け手の間に農地中間管理機構という機構が存在し、それぞれ契約をしていく、三者での手続きとなる。

問 これは市役所で位置図を作成してもらえて、登記簿謄本は市役所が取ってもらえるのか。

答 土地を確認をしていく作業とかは必要になるので、南あわじ市役所農林振興課の窓口に来ていただく。

問 相続が完了してない場合

答 市が代行で行う。

問 地主も借主も希望申出書を作成して住民票を添付することで登録は完了できるか。

答 ほぼ完了できる。

問 10筆あっても1回の手続でいいという理解でよいか。

答 契約書は一つで簡素化。

問 公民館で手続とかできなさいか。

答 土地を確認をしていく作業とかは必要になるので、南あわじ市役所農林振興課の窓口に来ていただく。

問 相続が完了してない場合

はどうか。

答 原則論としては相続をしてからの手続になる。

その他、地域計画、下水道事業、副市長2人体制についての質問をした。



水産業の振興

創世クラブ 木場 徹 議員



良好な漁場の再生を目指し、栄養塩対策の取組を聞く

問 下水放流基準の緩和は。

答 硝素の平均値は、阿万7.8mg/l、福良4.1mg/l、灘4.4mg/l、津井1.7mg/l、松帆・湊2.8mg/lで、限界までいけていない状況。

問 ナマコ・エビの放流で窒素を高める取組は。

答 今後も積極的に行う。

問 海苔、ワカメの色落ち対策は。

答 発酵鶏糞堆肥で海底施肥を行う。

問 「森は海の恋人」運動の取

組は。

答 毎年持ち回りで植樹をしている。

瓦産業の振興

問 現状は。

答 令和6年4月時点で58社あり、生産枚数は961万3,000枚と対前年比18.5%減。

問 後継者育成は。

答 鬼師不足の対策要望があり、瓦組合と話をしている。

観光の振興

問 淡路島南インター出口の渋滞対策は。

答 高速道路の側道を整備、

パーキング内バス停、駐車場300台の新設、市道の草刈りや整備し、渋滞時ガードマンの配備で対応。

産業廃棄物処分場の現状

問 伊加利処分場の残りは。

答 残り3%で、搬入は令和8年度末まで。

問 新処理場の建設予定は。

答 行政主体の処理場は造る予定はない。

問 瓦業界からの要望は。

答 市でやってもらえないかとの話はあったが、にわかにできる場所ではない状況だ。



▲伊加利処分場



渦潮の世界遺産登録について

辯 廣内 孝次 議員



問 登録された場合、市への効果は。

答 観光の振興と市民の意識がまとまり何事にも取り組める。

問 大阪・関西万博での具体的な行動は。

答 渦潮観光や登録の取組を発表する。世界遺産は将来に残すのが趣旨であり、基準に合致していることを理論的に示すのと、住民が大切に思い保護する活動が重要である。

問 基準に合わなくても市として取り組む運動を推進する

ことと、登録に向けて全ての職員が取り組んでいる姿を市民に見せることを要望する。

クラブ活動の地域移行について

問 クラブ活動の目的は。

答 子どもたちが自主的に文化芸術及びスポーツ活動に参加できる機会を確保していくこと。

問 受入れ可能団体一覧表の中学生向けは。

答 市民対象の時間帯を示している。難しいのは承知している。

問 令和10年2学期から地域移行になるので過渡期の対策は。

答 地域クラブを見比べて選択をしていただく。

問 クラブ活動の2年半を保証する考えもできるのではないか。



鳴門海峡の渦潮を世界遺産へ



不登校の子どもへの支援について

志 仲野 加枝 議員



問 不登校の子どもへの支援は?スクールソーシャルワーカーをもっと活用してはどうか。

答 適応教室や学ぶ楽しさ支援センターでの支援を行っている。スクールソーシャルワーカーは県の事業の中で活用しており、要望をあげていきたい。

三原志知公民館
改修工事について

問 小学校の廃校に伴い、三原志知地区では公民館がコミュニティの核であり、住民の声を反映した改修を望む。2、

3階(学ぶ楽しさ支援センター)は、必要があれば避難所や会議室として使用できるか。

と考える。条例やガイドラインを制定してはどうか。

答 大部分の民泊はきちんとやっていると考えるが、色々な問題があることは聞いている。今後どういうやり方が効果をもつかよく検討する必要がある。

民泊トラブルについて

問 南あわじ市でも民泊が増え、トラブルや不安の声を聞く。観光の振興には住民の住環境を守ることが必要である



▲三原志知公民館



防災インフラについて

誠道クラブ 谷口 博文 議員



問 豪雨災害、三原川河川改修計画の倭文川、湊港湾、排水機場の予定は?

答 湊排水機場の更新は来年度完成予定で、江川の内水対策は検討している。倭文川のポンプ場は来年度から工事を着工する。

問 倭文川右岸左岸の排水機場は完成したが、旧西淡庁舎前の排水機場、志知川の排水機場、西淡志知の排水機場の改修計画は?

答 西淡庁舎前の排水ポンプは現在工事中で、令和6年度

末に完成予定である。志知川の排水機場は更新し、令和6年度末、完成予定となっている。西淡志知の排水機場は、令和7年度から設計に着手する予定である。

問 阿那賀地区の高潮対策の現状は。

答 令和6年度から現地調査を行い、対策の検討に着手している。

問 松帆橋、松本橋の改修計画は?

答 松帆橋については、令和7年5月末に完成する予定で、

松本橋については、令和7年度に工事発注をする。

その他、水道の耐震化率、西淡地区県道の改修計画等、丸山バイパス、市道津井地区の改修計画等、一般ゴミ収集、市民のプラスチックゴミの分別収集等、西淡町民グラウンドの芝生、トイレの改修、照明等について質問した。



▲西淡庁舎前排水ポンプ

議案の審査で こんな議論をしました (会期:2月10日~14日)

令和6年度一般会計補正予算(第8号)

■議案内容

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億9,530万円を追加。

▶プレミアム付商品券事業補助金

1億2,100万円の追加

■主な質疑

問 商品券は、いつ使用できるのか。

答 令和7年7月から8月までの予定。

今回は、デジタル商品券の発行は行わず、要望が多かった紙の商品券を以前と同様に郵便局で販売する。デジタル商品券は今後も検討していく。

▶子育て世帯等生活応援給付
6,900万円の追加

■主な質疑

問 給付内容は。

答 物価高騰による負担増を受けて、特に影響の大きい子育て家庭を支援するもの。高校生以下の子どもがいる世帯に対し、子ども一人当たり1万円を給付する。

また、児童扶養手当を受給するひとり親世帯、特別児童扶養手当を受給する障害児のいる世帯、妊婦のいる世帯にも、それぞれ1万円を給付する。これらの条件が重なった場合も重複して給付する。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



議決結果一覧

議長(久米啓右)は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、ーは欠席)

■賛否の分かれた議案

提出者	議案名	議決結果	印部	土井	阿部	谷口	中村	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北条	吉田	熊田	木場	長江	蔭山
市長	令和6年度一般会計補正予算(第8号)	原案可決	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長	財産の取得(元辰美中学校)	原案可決	○	○	○	○	ー	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

兵庫県知事、神戸市長に
要望書を提出しました関西国際空港及び神戸空港の新飛行経路による
住民の生活環境負担軽減について

- 1 住民の安眠を確保するため、6時台及び22時台における淡路島陸上ルートの飛行便数の低減及び海上ルートの飛行が適用される23時から翌6時30分の時間帯の拡大について検討すること。
- 2 兵庫県、神戸市、関西エアポート株式会社、淡路島3市や国が参画する、飛行データや騒音データ等から問題事例の発見や改善策の検討を行う会議を定期的に開催すること。
- 3 新飛行経路が固定化されることのないよう、航空管制や航空機器の技術革新を踏まえ、技術的観点から安全対策・騒音対策等について、継続的に検討する会議を設置すること。



一部事務組合などの議会報告

兵庫県後期高齢者医療連合会

- ▼第1回定例会（2月12日）
 ●令和7年度一般会計予算、特別会計予算、条例の一部を改正する条例制定、第4次広域計画変更の件などを可決。
 ●副広域連合長に西村銀三氏（新温泉町長）、監査委員に谷垣満議員（養父市）を選任。

淡路広域行政事務組合

- ▼第1回定例会（2月19日）
 ●令和6年度一般会計補正予算（第1号）、令和7年度一般会計予算など9議案を可決。
 ▼第2回臨時会（3月27日）
 ●職員の給与、勤務時間、休暇及び育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定など4議案を可決。
 ●監査委員に藤井貴之氏（南あわじ市）、小野章二議員（洲本市）の選任を同意。

令和6年度議会交際費支出報告
(予算70万円)

議会交際費とは、議長等が対外的な交際を行うための経費です。支出基準に基づき、支出しています。

摘要	件数	支出額（円）
祝 金	8	85,000
見 舞 金	0	0
香 料	1	10,000
供 花	8	49,000
贊 助	0	0
会 費	7	101,000
そ の 他	5	35,420
合 計	29	280,420

淡路広域消防事務組合

- ▼第1回定例会（2月19日）
 ●令和7年度一般会計予算など2議案を可決。
 1議案を承認。
 ▼第2回臨時会（3月27日）
 ●令和6年度一般会計補正予算（第4号）、職員の給与、勤務時間、休暇及び育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定など5議案を可決。
 ●議長に木戸隆一郎議員（洲本市）を選出。
 ●監査委員に藤井貴之氏（南あわじ市）、小野章二議員（洲本市）の選任を同意。

淡路広域水道企業団

- ▼第1回定例会（2月19日）
 ●令和7年度水道事業会計予算を可決。
 ▼第2回臨時会（3月27日）
 ●職員の給与、勤務時間、休暇及び育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定など3議案を可決。
 ●副議長に清水茂議員（洲本市）を選出。

南あわじ市・洲本市小中学校組合

- ▼第1回定例会（2月20日）
 ●議長に熊田司議員を選出。
 ●令和6年度一般会計補正予算（第2号）、令和7年度一般会計予算（総額2億631万6,000円）を可決。
 ●木元寿夫議員（洲本市）と原口育大議員が一般質問した。

洲本市・南あわじ市衛生事務組合

- ▼第1回定例会（3月26日）
 ●令和7年度一般会計予算は、洲本市・南あわじ市の分担金、ごみ焼却手数料等での総額4億6,033万9,000円、職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定などを可決した。

議会報告会にお越しください！

参加自由

日時 5月9日(金) 午後7時～9時

いち 場所 市地区公民館 講義室

市民の皆さん、議会をより身近に感じていただけるように、議員が地域に出向き、南あわじ市の事業についての審議内容などを中心に報告します。

皆さんと意見交換を行い、議会活動に反映していきます。

お誘いあわせのうえ、お気軽にお越しください。



▲昨年度の湊地区公民館での議会報告会

第132回 南あわじ市議会定例会日程（6月）

◆開会はすべて午前10時～

	会議日	会議内容（予定）
第1日	5月30日(金)	1. 条例案上程 (説明、質疑、委員会付託) 2. 令和7年度一般会計補正予算案上程 (説明、質疑、委員会付託) 3. その他の案件上程 (説明、質疑、委員会付託)
第2日	6月11日(水)	1. 一般質問
第3日	6月12日(木)	1. 一般質問
第4日	6月13日(金)	1. 一般質問 2. 追加議案上程 (説明、質疑、委員会付託)
予備日	6月16日(月)	
第5日	6月24日(火)	1. 付託案件委員会審査報告 (質疑、討論、表決)
委員会	6月18日(水)	総務文教常任委員会 (付託案件の審査)
	6月19日(木)	産業厚生常任委員会 (付託案件の審査)

第131回 南あわじ市議会臨時会日程（5月）

	日時	会議内容（予定）
第1日	5月7日(水) 午前10時	1. 議案上程 (説明、質疑、委員会付託)
第2日	5月9日(金) 午前10時	1. 付託案件委員会審査報告 (質疑、討論、表決)
委員会	5月7日(水) 本会議終了後	産業厚生常任委員会 (付託案件の審査)

5月の委員会等日程

委員会	日時	場所	内 容
議会報告会	5月9日(金) 午後7時	いち 市地区 公民館	1. 議会報告 2. 市民との意見交換
総務文教常任委員会	5月12日(月)～ 5月14日(水)		管外視察 (大分県別府市、福岡県嘉麻市、宇美町、熊本県宇土市)
	5月19日(月) 午前10時		委員会室 事業評価
産業厚生常任委員会	5月16日(金) 午前10時		1. 重点調査 2. 事業評価
	5月21日(水)～ 5月23日(金)		管外視察 (大阪府豊中市、オムロン京都太陽株、和歌山県太地町)

訂正とお詫び

議会だより第84号5頁に掲載していました「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の正しい金額は1億9,600万円でした。
 訂正し、お詫び申し上げます。

淡路花博25周年記念
花みどりフェア2025 イングランドの丘で
インタビュー！(3月20日)



南あわじ市は、
学校給食がおいしい！
サンライズに遊具があつたらいいな。
スケートボードができる場所が
あつたらいいな。
(市内在住)



たまたま出かけてきたら、
花みどりフェアをやっていた。
出かけるきっかけになるような
地域のイベントが毎週あつたらいいな。
(市内在住)



たまたま来たら、花みどりフェアを
やっていて、迫力ある演奏が見れてよかったです！
南あわじ市は、海がキレイ。
車で走っているだけで気持ちがよい。
(石川県在住)



インスタで見ていました。
次回は、うずまちテラスと
渦潮を見に行きたいな。
(三重県在住)



インターネットを見て、來ました。
うずまちテラスも良かったです。
また、淡路島に来たい。
今日は天候に恵まれて良かった。
(奈良県、東京都在住)



編集後記

3月定例会は、予算議会と言われています。本市の令和7年度予算
も可決され、子育て・教育施策、防災行政無線設備更新、道路や河川、
橋梁の老朽化修繕、市有施設・跡地の有効利用などの事業が進められます。

また、新年度より副市長を二人とし、適切な役割分担、円滑に関係部門が連携し、市民との
対話・協働する体制づくりの構築を図るとしています。

議会だよりでは、皆さまの貴重なご意見をお聴きしつつ「伝わる」分かりやすい編集に心
掛け、読んでくださる紙面づくりに取り組んでまいります。最後までお読みいただきありが
とうございました。

議会広報広聴 常任委員会

長江 和代
廣内 孝次
長船 吉博
北条志津子
吉田 良子
木場 徹